

愛知県統計グラフコンクールの作品制作指導

名古屋大学教育学部附属中・高等学校

1 統計グラフコンクールへの参加・意義

本校では、高校1年生120人対象に特設科目「データサイエンス（通年・1単位）」（以下、DS）を設置しており、DSの授業内で統計ポスターの作成を課題としている。

DSでは、データを客観的に分析し、定量評価する方法や視点について、実践的に理解を深めることを目的としている。統計方法の基礎を学び、データの取得や分析を統計的な視点で行うためのデータリテラシーを養うことに重点を置いている。研究を進めるための基本的なフレームワークであるPPDAC（Problem Plan Data Action Conclusion）のうち、D（データ分析）を重点的に指導し、それを起点に他の研究段階にも目を向けて考えさせている。

統計ポスターはこの一連の流れの最後に授業内で作成をはじめ、夏休みに各自完成を目指す。同課題について、2022年度より統計グラフコンクールへのエントリーと紐付けており、以降、生徒たちの課題に取り組むモチベーションが著しく向上した。また、2024年度からは中学生の希望者にも対象を広げている。

2 統計グラフ制作指導

I 授業での指導

DSで履修する内容は「情報Ⅰ（問題解決）」と「数学Ⅰ（データの分析）」の範囲を中心としている。

また、教育用標準データセットであるSSDSE



（統計センター）などオープンデータを用いたミニPPDACを行っており、統計ポスターの作成はこの成果物としての位置付けである。

II テーマ設定

テーマ設定において、「手に負える（結論に辿り着く）課題設定」を行うことが難しいポイントの一つである。データセット提供後、各自で持ちうるデータから検証が可能なテーマを考え、それをグループで発表する機会を設けている。この時、“〇〇と××の関係”といったものから始め、授業内での他者とのディスカッション等を通じてより具体的に、仮説に関連したものにブラッシュアップしていく。

III 夏の課題

統計ポスターの完成を夏休み課題としているが、コンクールの提出日は、夏休み明けすぐである。そのため、校内提出日は夏休み中、8月上旬としている。その上で、担当教員が120名から20名程度を選抜、選抜されたコンクール参加者は夏季休暇中に登校し、担当教員からの助言も踏まえて提出用ポスターを完成させている。

3 成果

第5部

2022年度 金3、銀4、銅3

2023年度 金3、銀4、銅2

PC統計グラフの部

2022年度 金1、銀1、銅1

2023年度 金1、銅3



2023年度全国統計グラフコンクール
特選作品